

一般社団法人 加須青年会議所 2019年度 理事長所信

あいしん

愛心

～愛する心は人を変える～

理事長 奈良 和哉

【はじめに】

現代社会において IT の飛躍的な発達により電子機器を使い SNS 等で相手と意思の疎通を簡単に図ることができるようになりました。それにより出会ったことのない人、出会ったばかりの人とも積極的にコミュニケーションを取ることができるようになり、多様な価値観や要望に合わせたコミュニティを形成することができるようになりました。しかしその反面、身近な家族、近所間、地域の人達と話す機会が減り、人として本来の温かみを持ってなくなってきてはいないでしょうか。家族や友達にさえ伝えたい思いを文字等で簡素化して伝えたりすることで言葉に重みがなくなり、相手の立場を考えずに傷つけてしまう言葉を伝えてはいないでしょうか。また、地域の集まり等にも欠席という文字を送り、会う機会を減らし、会話型のコミュニケーションが減っていることも身近に感じております。話す機会、会う機会を増やすことで誰かの為に動き出すきっかけとなり、家族、地域において一人でも多く、誰かの為に動ける人が増えるのではないかと思います。そして SNS 等を活用することにより、たくさんの人達に利他の精神を発信できるという相乗効果も生まれます。他人を慈しみ愛する心を持ち、他人の事を思いやり、他人の為に行動できること、即ち愛心を持てる「ひと」を一人でも増やし、思いやりの心に満ち溢れた地域を創造する為に私たちは行動していきます。

【仲間を愛する心】

私は加須青年会議所に入会し、数々の出会いとたくさんの仲間との思い出があります。言葉の使い方、礼儀作法を教えて頂き、多くの事業を通して仲間との信頼関係を築く過程で、自己成長の機会を与えて頂きました。他人の為に一生懸命行動する精神を教えてくれた団体は青年会議所しかないと思っております。今、加須青年会議所は会員の減少により、運動の推進力が弱まっております。その為には、まだ見ぬメンバーを見いだす為にまずはメンバー間でいつでも会員拡大情報の共有を図れる仕組みを作ります。それから、加須市内の企業を訪問させて頂いたり、先輩諸兄姉からも助力を頂戴し、一人でも多くの同志に会う機会を増やしていきます。そして、巡り会えた同志には愛心を持って接し、加須青年会議所への理解を深めて頂くことを大切にしていきます。

【故郷を愛する心】

加須市民平和祭では毎年ジャンボこいのぼりが雄大に大空を泳いでおります。これは加須青年会議所において最大の運動を発信できる場所であり、ジャンボこいのぼり制作においても加須市民の皆様のご協力により市民間の繋がりを深められた運動でもありました。そんな思い入れのある5月例会において本年度もJC広場を活用し、この地域の未来を担う子供達同士と共に心と心が触れ合える事業を行います。市民間で心を通わせ、「ひと」と「ひと」との繋がりを大切にできれば誰かのことを想える愛心をもった人が増え、この地域を絆溢れる地域になると確信しております。

昨年度、創立45周年記念事業としてカスリーン公園こいざくら広場にて地域の皆様と共に桜の植樹を行い、参加して頂いた子供達からこいざくら広場の未来図を描いてもらいました。本年度はこいざくら広場の未来図を具現化する為に行動していきます。事業では公園化を進め、参加してくれた子供達、そして地域住民の皆様にとって憩いの場所となり春には桜が咲き、人が集まるこいざくら広場を故郷と感じる場所にしていきます。加須市に愛着を持って頂くことが愛郷心、帰郷心を育み、「ひと」と故郷が繋がると確信しております。

【おわりに】

本年度、一般社団法人 加須青年会議所は地域住民、行政、関係諸団体に対して愛心を持って行動します。「ひと」が変わることにより集合体である地域が変わり、地域が変われば住む人たちにとって幸せだと思える日常がくると確信しております。メンバーひとり一人が愛心を持ち、誰かの為に行動することでメンバー自身が変わり、他人の心に変化を与えることができると信じて積極果敢に行動していきます。相手の言葉に耳を傾け、自分に見返りを求めず惜しみなく捧げることで、人は愛を感じてくれます。地域を変革するJAYCEEとして、私たちは気概と誇りを持ち一年間邁進することをお約束します。

基本方針

- 1.人の心を変えられるリーダーを目指すこと。
- 2.青年会議所の基礎・基本を学び自己成長をする機会を増やすこと。
- 3.誰かの為に見返りを求めず行動をすること。